

車がエンスト！
ネットで業者を
選んだら高額に

事例 車で外出しようとしたらエンジンがかからなかったので、スマホで検索し「2000円」とあるロードサービス業者に電話して、来てもらった。エンジンはかかるようになったが、バッテリー上がりの修理代として現金で10万円を請求された。急いでいたので言われるがままにコンビニATMで下ろして払ったが、高額だと思う。

車を使用していると、バッテリー上がり以外に鍵の閉じ込めや脱輪など、出先でも思わぬ事態に陥ることがあります。慌ててロードサービス業者をネットで検索し「最速」「業界最安」などの広告を信じて呼んだものの、高額な料金を支払ってしまい、後悔する事例がみられます。後

から高額だと思っても、支払いをしてしまった後では、減額交渉は困難です。

こうしたトラブルを招かないためには、いざという時に信頼できる連絡先を知っておくことが大切です。自動車保険にはロードサービスが付帯されている場合があるので、まずは契約先の損害保険会社に相談しましょう。契約内容により対応範囲が異なるので、利用できない場合はロードサービス会社を案内してもらおうとよいでしょう。またJAF（日本自動車連盟）では会員以外もロードサービスを定価で利用できます。

ただ、連絡すべき業者を知っている、急いでいると、ネットで電話番号を検索して上位に表示された別の業者を呼んでしまい、トラブルになることもあります。信頼できるロードサービスの連絡先が書かれたメモを免許証と一緒に携帯すると安心です。焦っているときほどネット検索に頼りすぎないようにしましょう。

消費生活センター

TEL 6319・1000
FAX 6319・1500